

平成 31 年度(令和元年度)事業報告

平成 31 年度(令和元年度)は、2 つの重点事項を掲げて事業に取り組むとともに、組織運営面においては、人材の確保とわかりやすい組織とするため、現在の職員構成や今後の正規職員の推移等を踏まえて、理事会を中心に議論を重ね、正規職員の採用や組織の変更を行いました。

1 かまくらささえあい福祉プランの着実な推進

社協の相談窓口機能の向上のため、「なんでも相談窓口」を設置しました。

社協だよりやホームページなどで広報をし、窓口や電話等で寄せられる相談に一人ひとりの職員が真摯に対応を行って来ました。「相談窓口は複数あるが、どこに相談に行けばよいかわからない」という声も多く寄せられていたため、相談に対しては丁寧に話を聞くとともに、その場ではすぐに対応・解決できない場合には他の専門機関やサービスに円滑につなぐように努めました。

また、地区担当制は 2 年目に入り、生活支援体制整備事業の受託事業との連携を図りながら、できる限り地域に出向いて本会や地区の情報を相互に共有できるように努めました。

居場所や活動拠点の確保に向けた取組みについては、生活支援体制整備事業において、個人宅や空き家などを活用して近隣住民が集って語り合う場づくりとして近所の団らん事業を開始しました。

人材の育成と確保に向けては、個人で活動できるボランティアを増やすため、活動支援に向けた事業「はじめての一步」を開始しました。

2 地域生活支援の充実

判断能力や身体機能などが低下し、地域生活に配慮を要する高齢者や障害者等が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、地域包括支援センターをはじめ日常生活自立支援や成年後見、法人後見といった権利擁護事業を展開し、相談から具体的な日常生活支援の実施まで利用者等に寄り添った支援を幅広く行いました。

令和元年度は、本会の事業として永く実施してきた居宅介護等事業を年度末をもって終了した一方、地域を支える新たな事業として生活困窮者自立支援法に基づく就労準備支援事業を鎌倉市から受託し、就労が困難となっている人たちへの就労・自立に向けた支援に取り組みました。また、高齢者や障害者など住宅の確保に配慮の必要な人たちに対して住宅確保に向けた相談事業を鎌倉市居住支援協議会から受託し、住宅情報の提供や関係事業者への紹介などの活動を開始しました。

鎌倉市から指定管理を受けている老人福祉センターでは、高齢者の健康増進や教養の向上、楽しく過ごせる場の提供などを引き続き行っています。また、利用者の活動拠点として、快適に利用していただけるよう施設の安全に心がけて運営を行ってきたところであり、多くの高齢者の方々に安心して利用いただけたものと考えています。

地域での生活支援の充実につきましては、本会の使命であると考えており、今後ともさらなる充実に向けて取り組んでまいります。

※ 各表内の下段又は右に記載されている〔括弧〕書きの数値は平成 30 年度の数値となります。

I 法人運営事業

- ・本会では、理事会を中心に本会の業務や運営に関する重要事項の決定を行うとともに、現状の課題等を踏まえ、本会の今後のあの方(財政運営、運営体制、広報活動等)について、協議・検討を行っています。
- ・令和元年度は、平成 30 年度に引き続き、人材確保のための人事管理制度、将来に向けた組織・職員体制のあり方などについて、職員の意見を聞きながら、理事会や理事懇談会等の場で議論を重ねてきました。その結果、年度後半には理事会において、就業規程をはじめとする諸規程の一部改正案が可決され、令和 2 年度から新たに課制を敷き、3 課 5 係体制とすることとしました。また、組織の活性化を図るとともに、有能な人材を確保するために、契約職員から正規職員への転任試験を初めて実施し、2 名の職員を正規職員に転任させるとともに、新規の正規職員 2 名を採用しました。
- ・例年、実施をしている赤い羽根共同募金事業については、募金の使い道が分かりやすく伝わり、各戸に納得して募金を行ってもらえるよう平易な言葉で説明した資料を作成し、募金運動開始前のホームページへの掲載や地区社協等への説明会での資料として活用しました。また、新たに鎌倉駅地下道ギャラリーでの共同募金についての展示や共同募金 PR 用のポケットティッシュの配布など新たな取組みを行うとともに、市内の 11 の学校を訪問し、募金への参加をお願いしました。
- ・これまでも協働で活動を行ってきた藤沢市支会、江ノ電(株)のほか、湘南ベルマーレ、湘南モノレール(株)等との募金活動については、引き続き実施し定着したものとなっていますが、更なる取組みも必要です。
- ・その他、職員の資質向上、スキルアップを図るため県社協等が主催する専門的研修等に多数参加しました。また、例年行っている社会福祉士等を目指す実習生 8 名の受け入れを行いました。

1 法人運営のための会議の開催

(1) 理事会を 6 回開催し、提出された議案はすべて可決されました。

	開催日	場 所	議案等
第 1 回	令和元年 5 月 14 日	市福祉 センター	1. 平成 30 年度社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会事業報告について 2. 平成 30 年度社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会資金収支決算について 3. 社会福祉充実計画について 4. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会理事選任候補者の提案について 5. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会監事選任候補者の提案について 6. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 7. 定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について
第 2 回	令和元年 6 月 11 日		8. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会会長の選定について 9. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会副会長の選定について 10. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会常務理事の選定について
第 3 回	令和元年 8 月 1 日		11. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について
第 4 回	令和元年 9 月 17 日		12. 平成 31 年度(令和元年度)社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会資金収支補正予算(第 1 号)について 13. 評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について
第 5 回	令和元年 12 月 11 日		14. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正について 15. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会理事選任候補者の提案について 16. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
			17. 平成 31 年度(令和元年度)社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会資金収支補正予算(第 2 号)について 18. 評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について

第6回	令和2年 3月16日	新型コロナウイルス感染症予防のため書面による決議	<ul style="list-style-type: none"> 19. 平成31年度(令和元年度)社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)について 20. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会定款の一部変更について 21. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会理事、評議員、監事、各種委員会委員等の費用弁償に関する規程の一部改正について 22. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会各種委員会委員等の報酬等に関する規程の一部改正について 23. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 24. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会公印規程の一部改正について 25. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会事務局職員就業規程の一部改正について 26. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正について 27. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会事務局職員旅費規程の一部改正について 28. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会福祉活動振興基金管理委員会規程の一部改正について 29. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会一般会員の加入について 30. 令和2年度社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会事業計画について 31. 令和2年度社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会資金収支予算について 32. 評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について
-----	---------------	--------------------------	--

(2) 評議員会

評議員会を4回開催し、提出された議案はすべて可決されました。

	開催日	場 所	議案等
第1回	令和元年 6月4日	市福祉 センター	<ul style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会事業報告について 2. 平成30年度社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会資金収支決算について 3. 社会福祉充実計画について 4. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会理事の選任について 5. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会監事の選任について
第2回	令和元年 9月25日		<ul style="list-style-type: none"> 6. 平成31年度(令和元年度)社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について
第3回	令和元年 12月20日		<ul style="list-style-type: none"> 7. 平成31年度(令和元年度)社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について 8. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会理事の選任について
第4回	令和2年 3月24日	新型コロナウイルス感染症予防のため書面による決議	<ul style="list-style-type: none"> 9. 平成31年度(令和元年度)社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)について 10. 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会定款の一部変更について 11. 令和2年度社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会事業計画について 12. 令和2年度社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会資金収支予算について

2 広報委員会の開催

本会が行う広報活動の一層の充実を図るため理事等で構成する委員会を開催し、検討を進めました。

	開催日	場 所	内 容
第1回	令和元年 6月25日	市福祉 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・社協リーフレット作成について内容等の方向性の確認や意見交換を行い、令和元年度のリーフレット発行につなげました。 ・社協だよりのあり方について検討。若い世代の読者を増やすため、福祉作文表彰者にインタビューを行い記事を掲載することとしました。
第2回	令和元年 12月23日		<ul style="list-style-type: none"> ・社協だよりのあり方について引き続き検討し、紙質の見直しなどを行い、コストダウンに努めるとともに、社協だよりの読者の意見を幅広く取り入れるためアンケートを実施することとしました。

3 評議員選任・解任委員会の開催

欠員の生じた評議員の選任を行うため本委員会を開催し、6名が選任されました。

	開催日	場 所	内 容
第1回	令和元年 8月27日	市福祉 センター	評議員2名の選任
第2回	令和元年 12月26日		評議員4名の選任

4 理事会作業部会の開催

	開催日	場 所	内 容
第1回	令和元年 9月3日	市福祉 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付金の取扱い等について ・職員の今後の採用等について

5 理事懇談会の開催

本会運営に関して意見交換、情報共有の場として理事懇談会を開催しました。

	開催日	場 所	内 容
第1回	令和元年 8月1日	市福祉 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付金の取扱いについて ・今後の事務体制及び職員の確保について ・作業部会の報告について ・令和2年度の事業計画及び予算編成について
第2回	令和元年 9月17日		
第3回	令和2年 2月19日		

6 福祉活動振興基金管理委員会

	開催日	場 所	内 容
第1回	令和元年 9月26日	市福祉 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動振興基金の運用状況等について ・有価証券の案内状況等について ・福祉活動振興基金の広報について

7 役・職員研修の充実

神奈川県社会福祉協議会や鎌倉市主催の各種研修に積極的に参加しました。

社協職員研修・・・経理研修(1回)

専門職員研修・・・日常生活自立支援事業関連講習(9回)、後見関連講習(9回)、ボランティアコーディネーター相談員研修(4回)、地域の助け合い活動研修(2回)、生活支援コーディネーター養成研修(4回)、生活困窮者相談支援事業研修(4回)、生活福祉資金担当者研修(3回)、地域包括支援センター関連研修(7回)、その他(3回)

8 共同募金の実施

鎌倉市において赤い羽根共同募金の実施主体は神奈川県共同募金会鎌倉市支会ですが、その事務局は本会に置かれています。

例年どおり自治町内会、民生委員・児童委員、市民の方々の協力により募金活動を行いました。実施にあたっては同鎌倉市支会と協働し、社協だより、チラシ作成、ホームページやSNS等で募金の広報に努めました。また、江ノ島電鉄(株)や湘南モノレール(株)、湘南ベルマーレ、藤沢市支会はじめ近隣の市町支会との協働活動としてイベント募金を開催しました。新たな取り組みとして鎌倉駅地下道ギャラリーを活用した広報活動や、ポケットティッシュを作成、配布し広報に努めました。

共同募金実績

	戸別募金	街頭募金	法人募金	職域募金	学校募金	その他	合計
件数	121,328 [122,038]	※	78 [82]	3 [2]	10 [8]	37 [28]	121,456 [122,158]
金額(円)	22,642,765 [23,693,567]	1,004,849 [1,097,492]	733,000 [745,000]	131,270 [147,097]	149,581 [147,163]	806,248 [1,277,737]	25,467,713 [27,108,056]

※ 街頭募金実施日数：延べ13日 参加者数：36団体500名

街頭募金は台風19号の影響および雨天により4回中止

[平成30年度は延べ19日 参加者数：42団体616名]

9 福祉関連実習生の受入れ

社会福祉士、看護師を目指す8名の学生の受け入れを行いました。

対象	期間	学校名
1	令和元年6月3日～6月21日	神奈川社会福祉専門学校
2	令和元年7月17日～7月19日	国際福祉大学(2名)
3	令和元年7月23日～8月29日	東北福祉大学
4	令和元年8月5日～9月12日	日本福祉教育専門学校
5	令和元年8月5日～9月12日	相模女子大学
6	令和元年9月1日～10月7日	東北福祉大学
7	令和元年9月1日～10月17日	聖徳大学

II 企画広報事業

- ・例年9月に実施している鎌倉福祉まつりは、福祉関係者や一般市民が集い、福祉意識の醸成を図る場として開催されています。令和元年度は、3千人を超える参加者があり、収益金のうち、616,217円をボランティア団体等へ活動費として配分しました。また、長年、福祉に功労のあった市民、団体を表彰する地域福祉推進感謝の集いも11月に開催され多くの方々を表彰しました。
- ・ホームページについては、より見やすく、検索しやすい画面が求められていた経過を踏まえ、平成30年度から全面改訂の取組みを進め、平成31年4月にリニューアルすることができました。
- ・「社協だより」については、若い世代の読者を増やすため、福祉作文表彰者にインタビューを行い記事を掲載するとともに、社協だよりの読者の意見を幅広く取り入れるためアンケートを実施しました。
- ・本会の事業や役割を市民へ周知するとともに事業の活性化を図るため、市社協の事業を紹介したリーフレットを作成したほか、賛助会員募集のチラシ、市社協の広報媒体への広告掲載案内のチラシ等を作成しました。

1 鎌倉福祉まつりの開催

開催日	場 所	内 容	来場者 (名)
令和元年 9 月 1 日	市福祉センター	模擬店、市民市内企業寄付物品バザー、子どもと福祉コーナー、舞台催し等	3,026 [2,336]

2 地域福祉推進感謝の集いの開催

- (1) 開催日 令和元年 11 月 20 日
- (2) 場 所 市福祉センター
- (3) 内 容

- ・福祉功労者表彰
- ・東京藝術大学院生の和田華音氏、安保有乃氏によるピアノとチェロによるクラシック音楽の演奏

特別表彰 14 名 敬称略 [平成 30 年度は 13 名]

※ 福祉活動で 20 年以上在職・活動された方。

功労の内容	表彰者
民生委員児童委員として 20 年以上在職	瀧川フク、内野邦代、後藤玲子、安齋百合子、宮寄早苗
ボランティア活動にて 20 年以上貢献	長友和子、安井佳子、柿沼よね子、榎本春子、望月栄子、露木訓子、村田薫、高砂典子、キャサリーン・マリー・ライリー

一般表彰 (13 名 14 団体) 敬称略 [平成 30 年度は 23 名 14 団体]

※ 福祉活動で 10 年以上在職・活動された方、多額の金品を寄付された方。

功労の内容	表彰者
民生委員児童委員として 10 年以上在職	清田敏子、宮崎芳子、千代美和子
福祉団体役員として 10 年以上在職	古川正博、渡辺貞子

ボランティア活動にて10年以上貢献	河野美志、西浦チエ子、佐藤伸江、永井壤太郎、石川正毅、薄井修、大賀英孝、リンカン・ベル、ウィラニ・オハナ、おもちゃとしょかん「おなり」、あいあいグループ、ニーズ対応ゆい、グループ そら色のたね、ニーズ対応植木班、楽犬クラブ鎌倉
福祉活動振興基金に多額の金円を寄付	AMDA鎌倉クラブ、ウェルフェアダンス鎌倉、湘南ダンスサークル連絡会、阿華井流 香慶会
社会福祉事業に対し備品を寄付	公益財団法人鎌倉婦人子供会館、国際ソロプチミスト鎌倉、湘南立教会

3 情報発信の取組み

- (1) 地域の活きた福祉情報を収集し、ホームページやSNSに掲載した他、関係者との情報共有に努めました。
- (2) 「社協だより」を年4回（5月・8月・11月・2月）全戸配布（77,000部）し、福祉情報の提供及び本会のPRに努めました。
- (3) 広報委員会の議論を踏まえ、より見やすいホームページとするため全面リニューアルしました。

Ⅲ ボランティアセンター運営事業

- ・市民のボランティア活動への参加意欲を高め、ボランティア活動の振興を図るとともに、広く社会福祉の向上発展に寄与するため、ボランティアセンターを本会に設置しています。
- ・ボランティアの資質向上を図り、安心してボランティア活動が行える環境を整えるため、ボランティア講座や研修の開催、情報提供を行っていますが、令和元年度は、紅茶を提供しながら福祉施設や地域のサロン活動等を支援するボランティアの養成に取組みました。また、個人でボランティア活動をしたという市民のニーズに応えるため、ボランティア活動を希望する個人と福祉施設等のボランティアニーズを結びつける「はじめの一步」事業を開始しました。
- ・本会では、将来を担う人材を育成するため、「福祉教育」の推進に取り組んでおり、その一環として、学校との個別相談や講師の紹介、機材の貸出し等を実施しています。
福祉教育は、市内の小・中学校を対象に実施しています。令和元年度は、平成30年度に比べ、5校増加し、20校で実施されるなど、拡大に努めています。例年実施している学校の外、実施の意向が示された学校には、事前に訪問し要望を伺い調整を行ってから福祉教育を実施しています。終了後にはアンケートの実施や実績を学校関係者に報告するなど、充実に努めています。また、福祉教育協力者へ費用面での支援として、交通費の補助を開始しました。
- ・各地に大きな被害をもたらした台風19号に伴う対応として、鎌倉市内においては、被害を受けた市民からのボランティアニーズを受け付け、現地調査を行うとともに、対応可能な事案については本会職員及びボランティアが被害への対応を行いました。また、鎌倉市との協働により姉妹都市である栃木県足利市へのボランティアバス派遣事業を実施するとともに、台風19号の被災地支援のためのボランティア活動を行った市民等に対し、ボランティア活動保険の保険料及び交通費等の助成を行いました。

1 ボランティア講座、研修の開催

(1) ボランティア連絡協議会と協働して定例委員会委員を対象にミニ研修を実施

開催日	場 所	内 容	講 師	参加者 (名)
令和元年 5 月 16 日	市福祉 センター	避難誘導経路確認と避難訓練	鎌倉市福祉総務課職員	37
令和元年 6 月 20 日		テーマ:「片付けられないのには訳があった」	整理収納アドバイザー 逢坂万里子氏	36
令和元年 10 月 17 日		障害者雇用施策「2千人雇用センターの役割について」	鎌倉市障害福祉課職員 2千人雇用センター職員	34

(2) ボランティア養成講座の実施

開催日	場 所	内 容	講 師	参加者 (名)
令和元年 11 月 6 日 ～令和 2 年 1 月 21 日 (計 5 回開催)	市福祉 センター	◆ボランティア活動について ・紅茶の基本 ・紅茶のアレンジ ・おもてなしの紅茶 ◆ボランティア活動にトライ	日本紅茶協会認定ティー インストラクター・ティ ーアドバイザー 伊藤直子 氏	延べ 28 名

(3) ボランティア活動支援事業「はじめの一步」

「はじめの一步」希望票提出者	19 名
実活動者	6 名
来年度活動希望継続者	9 名

2 ボランティア相談の状況

相談者	相談者の区分	相談内容	相談件数
市民等	高齢者	植木剪定、家具移動、家の一部修繕	22 [24]
	障がい児・者	外出援助、見守り等	7 [7]
	団体	レスパイトサービス協力、イベント時のアトラクション等	15 [14]
	施設	イベント時のアトラクション、傾聴等	13 [21]
	行政	講座・講習時の保育等	19 [25]
	学校	点訳作業、校内・校外学習時の介助・福祉教育等	10 [17]
ボランティア	活動希望者	傾聴、子ども食堂、退職後の生きがいづくり等	26 [24]
	活動者	活動場所、広報、メンバー募集等	11 [14]
その他		ボランティア保険、サロン活動等	435 [367]
計			558 [513]

3 ボランティアとの連携

- (1) 社協だより、SNS を通じてボランティア活動に対する各種情報を提供しました。
- (2) 年間を通じてボランティアグループ等と連絡・調整を行いました。また、神奈川県社会福祉協議会の市区町村社協ボランティアセンター担当者会議等に参加し他地区の情報収集、意見交換等を行いました。

4 ボランティアセンター活動者に対する相談・支援

ボランティア活動中の事故等に対応した傷害保険料の助成をするとともに、各種の手続きについて相談対応しました。

(費用負担の内容)

区 分	人数(名)	金額 (円)
かまくらボランティアセンター	1,198 [1,305]	419,300 [456,750]
玉縄地区ボランティアセンター	36 [51]	12,600 [17,850]
大船地区ボランティアセンター	59 [61]	20,650 [21,350]

5 福祉教育への啓発と支援

福祉教育に関する支援

区 分		参加者(延べ)	内 容
小学校	公立	11校 750名 [6校 529名]	車椅子、点字、認知症サポーター養成講座、聴導犬について 車いすバスケットボール、視覚障害等の講話
中学校	公立	6校 419名 [6校 463名]	車椅子、点字、手話、認知症サポーター養成講座 車いすバスケットボール、フロアバレーボール、視覚障害等の 講話
	私立	3校 531名 [3校 533名]	点字、手話、認知症サポーター養成講座、共生社会についての 講話、被災地支援ボランティア活動についての講話

6 台風 19 号に係るボランティア活動と支援事業

(1) 被災地支援のためのボランティア活動者に対する助成金の交付

人数 (名)	保険料	交通費等	合計
88	39,440 円	81,000 円	120,440 円

※ 助成額内容

- ・ボランティア保険料 最大 510 円/人
- ・千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県、山梨県で活動した個人 3,000 円/人
- ・千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県、山梨県で活動した 5 名以上の団体 12,000 円/団体
- ・上記以外の県で活動した個人 5,000 円/人
- ・上記以外の県で活動した 5 名以上の団体 20,000 円/団体

(2) 鎌倉市内で台風 19 号の被害を受けた世帯への支援(令和元年 10 月 14 日～令和元年 10 月 21 日)

件数	内容等
11	倒木、落ち葉等落下物の撤去と片付け 家庭用物置の撤去、土砂の撤去と生活道路の確保等

(3) ボランティアバス派遣事業

鎌倉市と協働で栃木県の足利市災害ボランティアセンターへボランティアバスを派遣しました。初めての方にとっては災害ボランティアを体験する有効な手段であり、ボランティア活動のきっかけにもなったものと考えています。

開催日	内容	参加者 (名)
令和元年 10 月 19 日	雨天により中止	-
令和元年 10 月 20 日	汚泥の撤去等	38
令和元年 10 月 22 日	雨天により中止	-
令和元年 10 月 26 日	汚泥の撤去等	20
令和元年 10 月 27 日	〃	27
令和元年 11 月 27 日	参加者交流会	10

(4) 災害被災地への職員派遣

神奈川県社協の要請により、台風 19 号の被災地である長野市の災害ボランティアセンターへ職員 1 名を派遣しました。

派遣日	場 所	内 容
令和元年 12 月 12 日～16 日	長野市北部災害 ボランティアセンター	災害ボランティアセンター運営の応援に関東ブロック第 15 クールメンバーとして派遣。応援業務以外にも現場視察や意見交換を行いました。

IV 地域福祉推進事業

- ・地域福祉活動を推進していくために「かまくらささえあい福祉プラン(第5次鎌倉市地域福祉活動計画)」を策定し事業を進めています。
- ・その中で、特に「なんでも相談窓口」を本会に設置し、昨年7月から58件の相談を受け、問題の解決につながるよう、対応をしてきました。
- ・本会では、会員相互の連絡を図り、共通の事項を研究・協議し、立案することを目的に会員の種別(施設、団体等)ごとに部会を設置しています。さらに、部会内の個別の課題については、必要に応じて、委員会等が設置され、検討が行われています。その中でも特に令和元年度は福祉人材の確保に向けた取組みが行われました。
- ・本会が後見人となる法人後見事業については、4人の利用者に対して確実な支援実績を積むとともに、同事業を行っていく中で、弁護士や司法書士等専門家との連携を深めました。

1 かまくらささえあい福祉プラン推進等委員会の開催

かまくらささえあい福祉プラン推進等委員会は、同プランの策定及び進行管理を所掌しており、令和元年度は平成31年3月に策定したプランの1年目の実績を評価いただくため開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため書面会議で評価をいただきました。

評価の方法はプランの目標別に掲げた取組項目ごとの行動計画に沿い、本会及び鎌倉市の取組み状況を自己評価し、実施の振り返りと令和2年度の行動計画につなぐようコメントをまとめ、その自己評価に対して各委員から意見をいただきました。委員からは1年目で十分に取組まれていない項目の指摘や2年目に期待する項目などに対して具体的な事項を挙げて意見をいただきました。また、評価手法そのものや2年目以降の事業実施に向け本会全体で取組むべきといった意見もあり、令和2年度のプラン推進に向けた示唆を得ることができました。

2 なんでも相談窓口

7月より職員全員で面接・相談に対応し、問題解決に努めました。

一人の相談者からは様々な相談が寄せられましたが、大きく分けると次の3つに分類できます。

- (1) 福祉活動に係わるきっかけを求めるもの
- (2) 福祉の情報を求めるもの
- (3) 相談先の回答を求めるもの

なお、月別の相談件数は次のとおりです。

相談等件数

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2	4	2	6	12	5	10	6	11	58

主な相談内容

- ・品物を寄付したいが、どこが窓口か。
- ・ボランティアグループに入りたい。
- ・車いすでマンションに住んでいるが、停電時でエレベーターが使えない時は、どうしたらよいか。
- ・高齢で遠方にいる親の今後に向けて相談したい。
- ・身元引受人が亡くなったが、どこに相談したらよいか。
- ・新型コロナウイルスの影響で生活費に困った。どこに相談したらよいか。
- ・社会貢献をしたいが、どんな方法があるか。
- ・要介護者だが、退院後の居場所を考えたい。

3 福祉法律相談事業

弁護士による福祉法律相談の実施（原則毎月第4水曜日）
遺言の解約、自己破産、相続に関する相談がありました。

	認知症高齢者等	知的障害者	精神障害者	その他(※)	計
初回相談	4 [2]	0 [0]	0 [1]	0 [1]	4 [4]
継続相談	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]
合計	4 [2]	0 [0]	0 [1]	0 [1]	4 [4]

(※)左3項目との重複または判別不明な相談です。

4 各種部会の開催・支援

(1) 地区社協部会

	開催日	場 所	内 容
第1回	令和元年 5月8日	市福祉 センター	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度鎌倉市福祉関連予算等について 平成31年度鎌倉市社会福祉協議会の事業計画について 令和元年度地区社協助成金の申請手続きについて 正副部会長の選任及び理事の推薦について 部会年間スケジュールについて
第2回	令和元年 7月19日		<ul style="list-style-type: none"> 地区社協部会研修について 意見交換
第3回	令和元年 12月20日		<ul style="list-style-type: none"> 放課後かまくらっ子の運営について かまくらささえあい福祉プラン推進等委員の推薦について 意見交換
研修会	令和元年 10月7日		<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者を地域で支える福祉のまちづくり」 講師：愛知東邦大学人間健康学部 教授 西尾敦史 氏
会長会	令和2年 3月3日(※)		<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度地区社協助成金（予定）について 次年度に向けて

(※)新型コロナウイルス感染症予防のため中止

(2) 施設部会全体会の開催

	開催日	場 所	内 容
第1回	令和元年 5月13日	市福祉 センター	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度鎌倉市予算及び実施計画における主要事業の概要について 平成31年度鎌倉市社会福祉協議会の事業計画等について 施設部会部会長・副部会長及び正副種別長の選任について 理事・評議員の候補者の推薦について かまくらボランティアセンターより新規事業について
第2回	令和2年 3月27日(※)		<ul style="list-style-type: none"> 防災作業部会経過報告について 各種別報告について 令和2年度施設部会取組みについて
研修会	令和元年 8月8日		<ul style="list-style-type: none"> 「いざという時に備えよう～HUGで学ぶ災害時の避難所運営～」 講師：国際医療福祉大学成田保健医療学部 町田和 氏

(※)新型コロナウイルス感染症予防のため中止

(3) 施設部会内の各種委員会の開催

委員会名	開催日	場 所	内 容
防災作業部会	令和元年 6月25日	市福祉 センター	・災害時等における要配慮者の緊急受入れに関する協定書（案） について
	令和元年 12月17日		・台風15号・19号を受けて意見交換
特養施設長会	平成31年 4月9日		・介護人材の確保と育成について
	令和元年 6月11日		・就労カフェ「介護のお仕事 しりたい カフェ」について ・介護職員初任者研修・実務研修一元的実施の仕組検討について ・外国人雇用一元的体制について
	令和元年 9月17日		・就労カフェの結果報告について
	令和元年 11月11日		・就労カフェの結果報告について
	令和2年 2月5日		・就労カフェの結果報告について ・介護職員初任者研修・実務研修について ・各施設稼働や職員雇用状況 外国人雇用計画（今後3年間）アンケート結果
就労カフェ	令和元年 9月14日		サーフィンの魅力について 講師：特養稲村ケ崎きしろケアワーカー 瀬下絵里子 氏
	令和元年 11月9日		記憶と香り 講師：アロマ活用家 認定インストラクター 宮地一美 氏
	令和元年 12月14日		鎌倉に転職を！ 講師：特養ふれあいの泉ケアマネジャー 曾根久美子 氏

(4) 団体部会の開催

	開催日	場 所	内 容
第1回	平成31年 4月24日	市福祉 センター	・団体部会長及び副部会長の選出について ・本会理事候補者の推薦について ・鎌倉市の福祉施策の動向について

5 市民や団体等に対する各種備品の貸出

備品の種類	貸出件数及び回数
車いす	77件
催事用備品	73件
布おもちゃ・布遊具	13団体3個人54回

6 ボランティアと子どもたちとの新たな交流活動の実施

開催日	場 所	内 容	協力者	参加者 (名)
令和元年 7月24日	市福祉 センター	ラジオ体操が終わったら!? 福祉センターに集まれ!! ※ 朝食提供・ゲーム等アトラ クションなど	ベルの会、若宮会、第3地区民児協、 花見煎餅吾妻屋、ベーカリーショップ はまなみ、鎌倉市歯科医師会等	延べ 141名

7 法人後見の受任

平成30年1月から開始した法人後見事業は、専門員のスキルアップのために県社協等関係する研修に参加するとともに支援を行う中で生じた課題や問題については弁護士、司法書士等専門家の助言を受けながら実績を重ねています。令和元年度は新たに家庭裁判所へ初めて事務局定期報告(3件)を行うとともに、1件の受任を受け現在、4件を受任しています。

なお、法人として後見事務の代行をした内容は以下のとおりです。

市民税県民税申告、確定申告、介護保険に関する事務手続、健康保険に関する事務手続、タクシー利用料金助成申請、生活保護申請、NHK受信料免除申請など

V 生活支援体制整備事業

- ・本事業は、介護保険法に基づき実施するもので、平成30年より本会が鎌倉市から業務を受託し実施しています。当該事業は、生活支援コーディネーターの配置や多様な主体が連携する場である協議体の設置を行うことにより、地域住民やNPO、ボランティアなどの多様な主体が連携しながら、地域ネットワークの強化や地域の互助を高め、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めるものです。
- ・鎌倉市では、市内5行政区(鎌倉・腰越・深沢・大船・玉縄)ごとの協議体の設置を目指しており、それぞれの地区に生活支援コーディネーターを配置しています。令和元年度は、5か所の地区社協エリアで協議体機能を備えた会議が活動を開始しました。
- ・また、本会の独自の事業として、生活支援コーディネーターが中心となり、個人宅や空き店舗等を活用することにより、近隣住民が集うことができる場となる「近所の団らん助成事業」を開始し、令和元年度は16件の活動実績がありました。

1 地域の社会資源の情報収集

各地域で開催されているサロンや体操教室に参加したほか、地域包括支援センター地域連携担当と連携・協働し、社会資源の情報収集・把握を進め、くらし安心ガイドへ情報(いきいきサークル事業、地域介護予防事業、日常生活支援総合事業)の掲載をするなど情報の発信を行いました。

内 容	回 数
地域で高齢者が集う場や高齢者の生活支援に関する社会資源の情報収集	80
民間企業が行う高齢者の生活支援に関する社会資源の情報発信	12

2 生活支援・ニーズの把握・共有

地区社協との意見交換や地域アセスメント会議に参加したほか、地域包括支援センター地域連携担当と定期的に情報共有を図り地域課題の把握を行いました。

内 容	件 数
高齢者の日常生活での困り事や必要な支援の把握	9
高齢者の生活支援者からのニーズ把握・共有	40

3 生活支援サービスへの活動支援

鎌倉市介護予防・日常生活支援総合事業における住民主体サービス補助制度や本会が独自に行う「近所の団らん事業」助成金制度の周知徹底及び高齢者生活支援に関する住民主体の活動支援を行いました。

内 容	件 数
住民主体のサービス補助制度の周知、点検、活動支援	91
高齢者の生活支援に関する住民主体の活動に対する活動立上げ、継続時などの活動支援	69

4 ネットワークの構築・協議体の設置及び運営

地域福祉ネットワーク会議等へ参加するとともに、地域ネットワークの構築、協議体設置・運営に向けて地区社協をはじめ鎌倉市及び地域包括支援センター等と協議・連携を行いました。

内 容	件 数
協議体設置に向けて、専門職、地域住民など多様な主体の連携・協議	488
地域福祉ネットワーク会議等への参加	196
協議体の実施に向けた協力	11

・協議体の設置に向け機能や役割を9地区社協へ周知活動を行い、令和元年度は3地域（第三地区社協エリア・大船地区社協エリア・玉縄地区社協エリア）で協議体が立ち上がりました。

行政区	協議体の設置等に向けた主な取組み状況
鎌倉地区	鎌倉地区4地区社協の正副会長を対象とした「協議体実施に向けた概要説明会」を開催しました。その結果、鎌倉地区は当面は第一・大町・材木座・第三の4地区社協別に協議体設置を目指す方向性が確認されました。その後、第三地区社協では「ふれあいのまちづくり推進部会」が協議体として発足しました。
腰越地区	平成27年10月よりスタートした「腰越アセスメント推進委員会」は、平成31年3月に発展的に解散し、今後は「腰越地域高齢者等支援連絡会」とし、協議体として取組む予定です。 西鎌倉地区社協では地域アセスメントを実施しており、平成30年度に引き続き公園踏査及び買い物支援バスの見学・調査に参加しました。公園踏査では公園の有効活用についてまとめ、ホームページの「探検！発見！西鎌倉」の記事掲載に協力しました。
深沢地区	深沢地区で協議体を発足させるため、説明会の実施や地域の方々と打合せをしながら準備を進めてきた結果、令和2年3月に「深沢地区の防災と福祉を考える会議（深沢会議）」を協議体として発足させることとなりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により延期となっています。
大船地区	「大船地区協議体」は大船地域づくり会議の「アクティブシニア」の取組みを継承するかたちで立ち上がりました。高齢者の外出や人との交流を促す取組みを開始しており、サロン等の情報を載せた「大船おでかけマップ」を作成しました。
玉縄地区	玉縄地域では、既存会議体の玉縄地域福祉ネットワーク会議を「協議体」として立ち上げました。現在は地域アセスメントを実施しており、令和元年度は計5回開催しました。地域アセスメントでは公的サービスを中心にマップ化する事で玉縄地域全体が見ることができました。

VI 日常生活自立支援事業

- ・本事業は、成年後見制度の利用には至りませんが、日常生活を営む上で支障がある高齢者、障害者の権利擁護を図り、地域で自立した生活をおくれるよう利用者等との契約に基づき、金銭管理を中心に生活支援を行う事業です。
- ・令和元年度は10名の新規利用者があり、年度末現在の利用者は26名(高齢者7名、知的障害者6名、精神障害者8名、身体障害者5名)となっており、ニーズは高まる傾向にあります。
- ・サービス開始時や支援計画変更の際には、局内カンファレンスを実施するとともに、必要に応じて関係機関とのカンファレンスやケース検討会を随時開催するなど、利用者の自立生活に向けた取り組みを行っています。また、制度の利用にあたっては、一般の生活自立相談者の他、障害者相談支援事業所や地域包括支援センター等に対して、研修会、説明会を行ない周知を図っています。

1 利用者数(新規契約含む)

サービス内容	年間利用者数	新規契約	年度内終了者
福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理	29 [22]	10 [8]	3 [4]
証書や印鑑などの預かり	1 [1]	0 [0]	0 [0]

2 年間相談援助件数

合計 2,017 件 (うち新規相談として 51 件)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	身体障害者	その他・不明(※)
421	431	969	184	12

※ その他・不明は、相談だけで終わり、契約までには至らなかったケースです。

3 局内カンファレンス(ケース検討会)の開催

開催日	場 所	内 容	
平成 31 年 4 月 12 日	市福祉センター	審査案件	全体報告 19 件 新規 1 件 支援計画変更 2 件
平成 31 年 4 月 23 日			新規 1 件
令和元年 5 月 31 日			支援計画変更 2 件
令和元年 7 月 2 日			新規 1 件 (※契約には至らず)
令和元年 8 月 2 日			新規 2 件
令和元年 9 月 25 日			新規 2 件
令和元年 11 月 6 日			県社協諮問案件 1 件 (継続審議へ)
令和元年 11 月 13 日			新規 3 件 (うち 1 件は県社協諮問案件)
令和 2 年 1 月 16 日			新規 1 件 支援計画変更 1 件

4 生活支援員の資質向上

生活支援員との連絡調整を行うとともに、権利擁護関連の情報を提供するため、懇談会を開催しました。

開催日	場 所	参加者 (名)	内 容
令和元年 9 月 24 日	市福祉 センター	6	専門員の変更に伴う顔合せ、利用者の担当割り及び利用者の 状況課題などについて意見交換し情報を共有しました。

VII 成年後見センター事業

- ・本事業は、鎌倉市からの受託事業として実施しています。認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない者が成年後見制度を円滑に利用し、住みなれた地域で尊厳を保ちながら安心して暮らせるよう成年後見制度に関する相談に対応するとともに、福祉関係者や一般市民を対象とした講座の開催や研修会により制度の周知・啓発を図っています。
- ・成年後見センターに寄せられる相談内容は、家族関係の変化、家族や本人を取り巻く環境の変化等により、個別化、専門化しており、弁護士や司法書士等の専門家と連携を図りながら相談を行っています。
- ・高齢社会がより一層進展し、判断能力が低下したりする人たちへのケアに対するニーズは高まっており、福祉関係者や市民、関係団体への本制度の周知啓発をさらに図っていく必要性があります。
- ・この制度を市民が活用できる環境を整えていくため、市民後見人養成講座（実践研修）を開催し、5名の講座修了生を成年後見センターの名簿に登録しました。

1 成年後見相談対応件数

(1) 弁護士、司法書士、社会福祉士による定例相談（専門相談）件数

	認知症高齢者等	知的障害者	精神障害者	その他(※)	計
初回相談	15 [17]	8 [0]	3 [1]	5 [3]	31 [21]
継続相談	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [1]	0 [1]
合計	15 [17]	8 [0]	3 [1]	5 [4]	31 [22]

(※)左3項目との重複または判別不明な相談です。

(2) 随時相談件数

	認知症高齢者等	知的障害者	精神障害者	その他(※)	計
初回相談	98 [73]	12 [5]	13 [12]	40 [25]	163 [115]
継続相談	70 [57]	13 [7]	13 [2]	16 [19]	112 [85]
合計	168 [130]	25 [12]	26 [14]	56 [44]	275 [200]

(※)左3項目との重複または判別不明な相談です。

2 権利擁護の普及啓発

成年後見制度の利用に関する広報・啓発及び権利擁護の普及啓発を目的とした市民向け講演会の開催や金融機関職員及び福祉サービス・介護事業所職員向け研修会を実施しました。

開催日	場 所	内 容	講 師	参加者 (名)
令和元年 6月29日	市福祉 センター	・社協の権利擁護サービスについて 日常生活自立支援事業・成年後見制度について説明、市成年後見センターの紹介	本会職員	ホームヘルプ サービス連絡 会会員9名
令和元年 7月16日		・新人ケアマネジャー研修 成年後見制度について説明、市成年後見センターの紹介	本会職員	新人ケアマネ ジャー30名
令和元年 7月26日		・リバースモーゲージと成年後見制度 生活福祉資金概要と不動産担保型生活福祉 資金の現状、成年後見制度について説明	本会職員 弁護士 内嶋順一 氏	高齢者の相談 に係る者51名
令和元年 10月9日		・成年後見制度を知ろう 成年後見制度について説明、市成年後見センターの紹介	本会職員	ケアマネサロン (鎌倉地区主マ ネ連絡会)30 名

令和元年 10月31日	カモメサロン	・相続と成年後見制度 民法改正による遺言書や相続についてと成年後見制度について説明、市成年後見センターの紹介	司法書士 高橋潤美氏 日永田一憲氏	カモメサロン 利用者スタッフ他24名
令和元年 11月14日	鎌倉市深沢行政センター第3集会室	・鎌倉市障害者相談支援事業所連絡会 成年後見制度地域意見交換会 成年後見制度について資料、事例を基に説明	弁護士 熊澤美香氏	鎌倉市障害者相談支援事業所相談員25名、鎌倉市役所障害福祉課等3名
令和元年 11月18日	グループホーム花物語かまくら	・財産管理について 日常生活自立支援事業、成年後見制度について説明、市成年後見センターの紹介	本会職員	オレンジカフェ利用者と家族、スタッフ7名
令和元年 11月21日	玉縄学習センター	・成年後見制度について 成年後見制度概要、診断書改定等、被後見人の欠格要件について、成年後見センター業務について説明	本会職員	ケアマネサロン玉縄21名
令和元年 12月1日	市福祉センター	・親なきあと～親あるうちから～ 親あるうちから、親亡きあとに備え、障害のある子についてどのようにしたらよいのか、成年後見制度も含め説明、市成年後見センターの紹介	認定NPO法人よこはま成年後見つばさ理事・NPO法人つなぐ副理事長 根岸満恵氏	鎌倉市在住在勤者28名
令和2年 1月26日		・成年後見制度 メリット・デメリット 成年後見制度概要、本人にとってのメリット・デメリットについて説明、市成年後見センターの紹介	司法書士 石井元彦氏 池田忠広氏	鎌倉市在住在勤者38名
計 10回				266名

VIII 就労準備支援事業

- ・本事業は、鎌倉市より委託を受け令和元年10月から開始しています。生活困窮者自立支援制度の中の1つの事業であり生活困窮者や生活保護受給者等のうち就労に必要な知識・技術に欠けているだけではなく、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下している(ない)等の個別又は複合的な課題・理由により、就労が困難となっている方や現状を改善したいという意識を持った自立が見込まれる方を支援しています。
- ・個別の支援を提供するにあたっては、社会参加、職場体験などの参加を通じて生活意欲・就労意欲の喚起や仕事へのイメージを育てることにより一般就労に向けた基礎能力の形成を目指します。対象者の自信と意欲を養い、対象者と地域社会をつなげることにより、「日常生活自立に関する支援」「社会生活自立に関する支援」「就労自立に関する支援」の3段階で実施しステップアップを図り支援していきます。
- ・福祉事務所及び自立相談支援機関との連携・調整を図るとともに利用者の意向を尊重しながら自立に向けた支援を行っていく必要があります。
- ・この事業は、「スリー・プラス 鎌倉」という事業所名で大船で実施しています。

1 登録利用件数 3件

本事業は基本的に福祉事務所及び自立相談支援機関における面談や調整を経て利用者が決定することとなっています。現在、3名の登録者があり、週に1回程度の通所による支援を行っています。

3名とも支援員とのコミュニケーションを図りながら軽作業等を実施しており、更なる自立に向けた支援を行っていくこととしています。

2 相談件数 11件

相談受入れ先の内訳

- ・インクル相談室鎌倉 2件
- ・鎌倉市 5件
- ・当事者 3件
- ・当事者の家族 1件

3 スリー・プラス 鎌倉 概要

(1) 所在地：鎌倉市大船 2-20-29 花井ビル 201 号室

(2) 面積：38.64 m²

(3) 主な相談内容

- ・一日の生活リズムができるよう、支援をしてほしい。
- ・人間関係を作って生活ができるよう、自信を取り戻せる支援をしてほしい。
- ・自宅から定期的にどこかに通うというリズムをつくることで社会生活への第一歩を踏ませたい。
- ・自宅に引きこもっている生活から抜け出させたい、抜け出したい。

IX 援護事業

- ・本事業は、鎌倉市及び神奈川県社会福祉協議会からの委託により、生活困窮者への資金の貸付・相談業務を実施しています。
- ・生活福祉資金貸付事業(県社協)では、相談件数が300件を超えていますが、そのうち64%が制度内容の相談であり、貸付に繋がったのは20件で、このうち13件は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、3月25日から緊急に始まったコロナ特例貸付です。
- ・また、令和元年度は、台風15号及び19号の影響により、罹災世帯への見舞金が増加しました。

1 緊急援護金の貸付け・支給

鎌倉市からの受託事業として低所得世帯等に対し、緊急援護金の貸付け等を実施しました。

種 類	件 数	貸付・給付金額 (円)
貸付	52 [59]	1,046,500 [1,307,000]
行路者小口給付	35 [30]	19,830 [27,050]
計	87 [89]	1,066,330 [1,334,050]

2 生活福祉資金貸付事業

神奈川県社会福祉協議会からの受託事業として低所得世帯等に対し、相談に応じるとともに自立更生に必要な資金の貸付を行いました。

相談及び貸付に関する状況

相談件数	相談合計	制度内容相談	貸付相談	償還相談
	375 [301]	216 [189]	119 [42]	40 [70]

区 分	種 類	貸付件数	貸付金額 (円)
総合支援資金	住宅入居費	0 [0]	0 [0]
	生活支援費	0 [0]	0 [0]
	一時生活再建費	0 [0]	0 [0]
生活福祉資金	福祉費	1 [0]	30,000 [0]
	教育支援資金 ^(※)	4 [2]	2,648,000 [400,000]
	緊急小口資金	2 [0]	135,000 [0]
	緊急小口資金(コロナ特例)	13 [-]	2,200,000 [0]
臨時特例つなぎ資金	臨時特例つなぎ資金	0 [0]	0 [0]
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0 [0]	0 [0]
計		20 [2]	5,013,000 [400,000]

※ 貸付決定額 2,648,000 円の内、年度内送金済額 2,084,000 円

3 年末たすけあい

年末たすけあい募金の福祉団体等への配分

区 分	団体等数	配分金額 (円)
福祉当事者団体	13 [13]	690,000 [680,000]
地域活動支援センター	10 [10]	600,000 [600,000]
就労支援施設及び就労継続支援施設	13 [13]	780,000 [780,000]
自立訓練施設及び生活介護施設	1 [1]	60,000 [60,000]
ボランティア連絡協議会	1 [1]	60,000 [60,000]
地区社会福祉協議会	9 [9]	540,000 [540,000]
計	47 [47]	2,730,000 [2,720,000]

4 罹災世帯への見舞金の支給

市内で発生した火災や台風による罹災世帯に対し見舞金を支給しました。

種 類	件 数	支給額 (円)
全 焼	6 [1]	60,000 [10,000]
半 焼	6 [2]	30,000 [10,000]
全 壊	4 [0]	40,000 [0]
半 壊	17 [0]	85,000 [0]
死 亡	2 [1]	20,000 [10,000]

※ 全壊、半壊の計 21 件は台風 15 号および 19 号によるものです。

X 助成事業

- ・福祉当事者団体及び各地区社会福祉協議会について、それぞれの組織の円滑な運営と事業の推進を図るための費用の一部を助成しています。また、鎌倉市内のボランティアについては、それぞれのグループ等の行う自主的な福祉活動や資質向上のための学習に要する経費の一部を助成しました。

1 地区社会福祉協議会への助成

各地区社会福祉協議会に運営費、特別事業費（給食事業費、拠点維持費）、活動計画推進事業費の助成金を交付しました。

対 象	対象数	支給額（円）
地区社会福祉協議会	9 [9]	5,530,000 [5,530,000]

2 団体等への助成

対 象	対象数	支給額（円）
福祉当事者団体	11 [11]	455,000 [455,000]
ボランティア連絡協議会	1 [1]	200,000 [200,000]
ボランティアグループ	20 [20]	863,000 [858,000]
鎌倉市ホームヘルプ連絡会	1 [1]	440,000 [440,000]
福祉関係団体	4 [4]	70,000 [70,000]
計	37 [37]	2,028,000 [2,023,000]

XI 居宅介護等事業及び障害者福祉サービス事業

- ・介護保険法の指定事業者として、居宅介護等事業（居宅介護事業、訪問介護等事業）を永く運営してきましたが、介護保険事業の充実に伴い同様の事業を担う事業者が増加し、また、本会に期待される新たなニーズが生まれてくる中、本会の居宅介護事業所としての一定の役割は果たせたものと考えており、令和元年度末で事業を終了しました。
- ・事業の終了にあたっては、利用者を他の事業者を引き継ぐとともに、登録ヘルパーの新たな事業所への移行などを行いトラブルもなく終了することができました。

訪問介護員による家事援助、介護サービスの実施状況

月	訪問介護サービス (要介護 1～5)		予防訪問介護サービス (要支援 1、2)		障害者自立支援	
	利用者 (名)	時間数	利用者 (名)	時間数	利用者 (名)	時間数
4	26	322	9	39	2	67
5	25	319	8	35	2	73
6	25	285	9	35	2	65
7	25	282	9	38	2	70
8	22	250	9	38	2	27
9	10	62	6	22	1	2
10	10	67	6	23	1	2
11	9	66	5	18	1	3
12	9	60	5	18	1	2
1	8	48	5	18	1	2
2	7	32	5	18	1	2
3	5	33	3	14	0	0
計	181 [385]	1,826 [4,524]	79 [149]	316 [665]	16 [36]	315 [860]

XII 地域包括支援センター事業

- ・地域包括支援センターは、高齢者をめぐる不安や相談に保健師・看護師、社会福祉士、ケアマネジャー等が対応することで、地域住民の心身の健康・生活の安定に必要な支援を行う「高齢者のよろず相談所」となっており、本会は、市内10カ所ある地域包括支援センターの1つに位置付けられています。
- ・介護や介護予防に関する相談、高齢者の人権や財産を守る取組み、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるための様々な機関とのネットワークづくりや適切なサービスの提供、介護予防教室や介護予防ケアプランの作成など、業務は多岐にわたっています。特に令和元年度は「頭の体操をして介護予防につなげる」という視点から新たな取組みを継続的に行い、参加者や参加者を取り巻く家族から好評を得ることができました。
- ・相談業務については、介護保険サービス利用の相談だけではなく、家族関係を始めとする多岐にわたる内容であり、幅広い対応が求められています。
- ・今後も、現在進められている生活支援体制整備事業との将来的な連携を視野に入れて、これらの取組みを継続する必要があります。

1 鎌倉市地域包括支援センター連絡会等の活動

- ・鎌倉市と地域包括支援センターとの連絡調整、情報交換・連携、センター職員の資質向上を図るため、鎌倉市地域包括支援センター連絡会を組織しています。当該連絡会は、次の委員会等を設置しており、効果的な運営が図れるよう積極的に参加・活動しました。
 - ・管理者会議
 - ・在宅医療介護連携推進委員会
 - ・地域連携担当委員会
 - ・総合事業検討委員会
 - ・事業計画検討委員会
 - ・研修・イベント企画運営委員会

2 地域に根ざした活動や講座等の開催

- ・ケアプラン点検をはじめとした市内の主任ケアマネとの連絡・調整の他、小規模多機能型居宅介護施設等の4カ所の運営推進会議に出席するなど鎌倉地域の事業所や施設との連携を行いました。
- ・第一地区民児協定例会や地区社協の理事会、ケア会議に参加するとともに、自治町内会の見守り活動や高齢者の集う場に継続的に参加・支援しました。
- ・地域での総合的な介護予防支援の一環として、認知症サポーター養成講座や出前講座を開催しました。
 - ・認知症サポーター養成講座の開催
社協職員を始め、企業、町内会、学校に対して7回開催しました。
 - ・出前講座
地域で開催されている自治会の会合サロン等に伺い、コグニサイズの指導、高齢者の介護、健康等の講座を行いました。

3 介護予防支援のケアマネジメントの推進

介護予防支援・介護予防ケアマネジメントとは、要介護になることを可能な限り防ぎ、仮に要介護になっても状態が悪化しないように支援することです。月別のサービス計画の作成から管理までの一連の業務（給付管理）件数は以下のとおりです。

月	給付管理（件）	
	社協（※1）	委託（※2）
4	79	90
5	85	89

6	93	86
7	90	85
8	90	88
9	97	86
10	93	85
11	94	84
12	103	88
1	105	84
2	100	82
3	83	79
計	1,112 [948]	1,026 [1,021]

(※1) 本会の地域包括支援センターにおいて、給付管理を行っているものです。

(※2) 利用者のサービス選択などにより、居宅支援事業者にケアプランを依頼するものです。

4 介護予防事業のマネジメント

(1) ティールーム（サロン活動）の開催

民生委員児童委員、ボランティアグループの協力により茶話会形式によるサロンを開催しました。

開催日	場 所	内 容	講 師	参加者 (名)
令和元年 5月14日	市福祉 センター	ミニ講座「知っておこう！気をつけよう！高齢者を ねらった消費生活トラブルについて」	消費生活センター 水谷千佳 氏	7
令和元年 7月9日		ミニ講座「簡単！ステキな飾り箱」	包括職員	11
令和元年 9月11日		調理実習「お好み焼きをみんなで焼きます」	包括職員	13
令和元年 11月11日		ミニ講座「Let' コグニサイズ」	包括職員	15
令和2年 1月14日		ミニ講座「災害時の！お薬のお話～おくすり手帳の 活用法～」	陽だまり薬局管理薬剤師 三瓶聡子 氏	11
令和2年 3月11日(※)		ミニ講座「春の和菓子をみなさんと」	包括職員	—
計 5回				57

(※) 新型コロナウイルス感染症予防のため中止

(2) わくわく算数教室の開催（脳の筋力トレーニング）

会森敦子氏（いきいき数学教室主宰）による教室を令和元年6月3日から令和2年2月3日まで8回市福祉センターにおいて開催しました。（参加者延べ89名）

(3) 介護予防教室及び家族介護教室の開催

・65歳以上の住民を対象に介護予防教室を開催しました。

開催日	場 所	内 容	講 師	参加者 (名)
令和元年 5月13日	市福祉 センター	「わくわく算数～四角形を並べてわあ、きれい！」	数学教師 会森敦子 氏	13
令和元年 7月17日		「自分の健康は自分で作る」(体操・コグニサイズ)	介護予防指導員 久野秀隆 氏	26
令和2年 2月12日		「初めての音楽呼吸法～音楽で元気に！音楽呼吸法とは？」	音楽療法士 千葉登世 氏	42
計 3回				81

・介護者向けに家族介護教室を開催しました。

開催日	場 所	内 容	講 師	参加者 (名)
令和元年 10月16日	市福祉 センター	「秋のお灸教室」	鍼灸師 小田良実 氏	22
令和2年 3月18日(※)		「こころ晴ればれ！臨床美術」	臨床美術士 津久井由紀子 氏	—

(※) 新型コロナウイルス感染症予防のため中止

5 その他の福祉活動

(1) ケアマネサロン(鎌倉地区)の開催

地区内の地域包括支援センターと事業者の主任ケアマネジャーと協力、ケアマネジャーを対象に年3回、勉強会や情報交換等を行いました。

(2) 鎌倉地域の主任ケアマネジャーで事例研究を月1回行い、利用者への対応やケアマネジャーへの支援について研鑽を積みました。

開催日	場 所	内 容	参加者 (名)
令和元年 5月21日	市福祉 センター	「介護支援専門員の立場でACP(人生会議)について考えよう」	46
令和元年 10月9日		「成年後見制度を知ろう」	31
令和2年 2月12日		「日々のお悩み相談」	28
計 3回			105

XIII 老人センター運営事業

- 老人福祉センターでは、各種講座やサークル等の活動支援、世代間交流事業など様々な取組みを行っており、地域の高齢者にとって活動の拠点として身近な存在として定着しています。多くの高齢者の健康増進や教養の向上、楽しく過ごせる場の提供など安心安全に気を配りながら運営しています。令和元年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年2月27日から全センターが臨時休館となり、利用者にはご不便をかけることとなりました。予定していた講座等も一部実施できないものもありましたが計画した事業は概ね実施できたものと考えています。
- また、台風15号・19号により鎌倉市も甚大な被害を受けましたが、災害時の避難所としての役割のあるセンターとして15号では鎌倉市からの要請で教養センターと玉縄すこやかセンターを避難所として開設し、玉縄すこやかセンターで2日間で延べ6名の市民が利用しました。19号では全センターが2日間の臨時休館となり、改めて災害への準備と対応の必要性、センターの重要性を考えることになりました。
- 名越やすらぎセンターは、耐震改修工事のため令和元年9月から7か月の長期にわたり臨時休館となり、利用者には他のセンターを利用させていただくなどご不便をおかけしました。なお休館期間中は市役所と教養センター間でマイクロバスを臨時で運行し利用させていただきました。
- 老人福祉センターは、令和2年度で指定管理期間が終了します。高齢者にとって重要なセンターであり、本会にとっても地域や市民と関わり地域福祉を推進するための重要な施設です。次期指定管理者応募に向けて、本会の実績や経験を活かすとともにこれまでの振り返りを行い、より良いサービスが提供できるよう様々な検討と準備をしていくことが求められます。次期指定管理者取得に向け本会一丸となって取り組むことが必要と考えています。

1 利用状況

月	名越やすらぎセンター	教養センター	今泉さわやかセンター	玉縄すこやかセンター	計(名)
4	2,157	3,865	2,537	1,564	10,123
5	1,942	4,119	2,660	1,421	10,142
6	1,971	4,302	2,608	1,606	10,487
7	2,475	3,663	2,685	1,502	10,325
8	1,926	2,092	2,522	1,255	7,795
9	0	4,213	2,595	1,091	7,899
10	0	5,394	3,557	1,429	10,380
11	0	4,628	2,347	1,519	8,494
12	0	3,523	2,247	1,550	7,320
1	0	3,787	2,226	1,531	7,544
2	0	3,443	2,068	1,479	6,990
3	0	0	0	0	0
計	10,471 [22,034]	43,029 [44,719]	28,052 [32,364]	15,947 [16,857]	97,499 [115,924]

- 名越やすらぎセンターは、9月～3月に耐震改修工事のため臨時休館
- 新型コロナウイルス感染症予防のためすべての施設は2月27日～3月31日の間臨時休館

2 利用者懇話会・サークル代表者会議の開催

施設名	利用者懇話会 (回)	サークル代表者会議 (回)
名越やすらぎセンター	4 [5]	4 [5]
教養センター	6 [7]	2 [2]
今泉さわやかセンター	4 [6]	0 [1]
玉縄すこやかセンター	3 [2]	2 [1]
4施設合同(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンコインバスツアー (2月21日) ・利用者協議会・懇話会連絡会 ・横浜地方気象台で見学研修会 (3月5日) 	

(※) 新型コロナウイルス感染症予防のため中止

3 敬老の日 記念事業・フェスティバルの開催

施設名	開催日	内容	参加者 (名)
名越やすらぎセンター	令和元年 7月6日～7月7日	夏まつり 敬老祝賀行事「体操競技の楽しみ方」	469 [557]
	令和元年 5月17日～6月3日	地下道ギャラリー サークル紹介・作品展示	-
教養センター	令和元年 4月1日～26日	地下道ギャラリー展示 サークル作品の展示 21サークル	-
	令和元年10月2日	サークル作品展は、鎌倉生涯学習センターが 耐震改修工事のため中止 舞台発表会は、鎌倉芸術館で開催	153
	令和元年 10月19日～20日	文化祭の開催 サークル発表、模擬店、バザー等	1,062 [974]
今泉さわやかセンター	令和元年9月7日	敬老祝賀行事	56
	令和元年 10月5日～6日	フェスティバルの開催 サークル作品展、模擬店等	1,481 [1,494]
	令和2年1月18日	新春のつどい、歌やピアノ演奏	44
玉縄すこやかセンター	令和元年9月14日	フェスティバルの開催	234 [262]
ワンコインバスツアー (4施設合同開催)	令和2年2月21日(※)	老人福祉センター利用体験会 今泉さわやかセンター、教養センター	-

(※) 新型コロナウイルス感染予防のため中止

4 軽スポーツ・教養講座等各種講座の開催

施設名	講座種類	内 容	参加者 (名)
名越やすらぎセンター	専門講座 (4 講座)	珈琲とフードの相性を探る／鎌倉生まれのバラを育てる／手拭いシャツづくり／女性限定「囲碁のいろは」	延べ 314 (445)
	健康づくり講座 (5 講座)	セルフケア指圧とお灸／男性限定「今から始める運動習慣」／スポーツチャンバラ／酔活用術／シコトレ	
	生活講座 (1 講座)	救命入門講習	
	地域福祉推進事業 (3 講座)	夏休み体験教室／サマーコンサート 2019／字幕付き邦画鑑賞会	

施設名	講座種類	内 容	参加者 (名)
教 養 セ ン タ ー	一教教養講座 (24 講座)	<p><春期分>万葉集の世界／季節と行事を楽しむ心／日本における洋画の修復／街のことばの楽しみ方／サファリ（旅）と俳句／フルートの音／鎌倉の洋風住宅／笑顔で生きる</p> <p><夏期分>箏のトークコンサート／芥川龍之介と北京</p> <p><秋期分>新田義貞の鎌倉攻め／石原裕次郎とその時代／腰椎疾患について／寮母としての幸せな日々／源氏物語の終焉／熱海温泉に行く／戦後時の言葉／音楽と落語の宅配便</p> <p><冬期分>日本刀とのふれあい／鎌倉ゆかりの文学／中世鎌倉と有力御家人／ためしてみるか／鎌倉の伝説をめぐる／祭りと季節</p>	延べ 12, 138 [13, 449]
	専門講座 (16 講座)	<p><春期分>男の料理教室／陶芸入門／書を楽しむ学ぶ／漢文に親しむ／鎌倉学入門／名画で徹底解説！ダンテの神曲煉獄篇</p> <p><秋期分>バロック美術の魅力／作品で読む日本近代文学／歴史史料を身近に感じる／写真入門教室／やさしいパステル画／鎌倉学入門／漢文に親しむ</p> <p><冬期分>夏目漱石「こころ」を読む／中世人の旅と交通／井原西鶴「本朝二十不孝」を読む</p>	
	健康づくり講座 (7 講座)	<p><春期分>はじめての太極拳／ヨガ教室／60 歳からのボウリング教室</p> <p><秋期分>はじめての体操フラダンス／ヨガ教室</p> <p><冬期分>はじめてのストレッチ／ヨガ教室</p>	
	その他講座 (5 講座)	東海道五十七次を落語と東海道検定で巡る／はじめてのスペイン語／源氏物語を読む／芥川龍之介・文学の挑戦／庭木の手入れ教室	

施設名	講座種類	内 容	参加者 (名)
今泉さわやかセンター	専門講座 (3 講座)	初心者囲碁教室／野草のレシピ／かまくら女性史の会「朗読会」	延べ 874 [952]
	健康づくり講座 (11 講座)	グラウンドゴルフ体験教室／健康音楽表現体操／姿勢と歩くを学ぼう／ヨガで骨盤矯正、ボールを使って美姿勢づくり／笑いヨガ／音楽セラピー／いきいきエクササイズ／ポールウォーキング／ヒートショックを防ぐ／高齢者向けの口腔ケアと口腔体操／脳トレ・体操で元気アップ	
	生活講座 (4 講座)	いきいき終活／災害から身を守ろう／防犯講座／介護保険とは	
	地域福祉推進事業 (4 講座)	字幕付き邦画鑑賞会／さわやかコンサート／ウインターコンサート／竹で作るひょうたん教室	

施設名	講座種類	内 容	参加者 (名)
玉縄すこやかセンター	専門講座 (4 講座)	おりがみ教室／文学講座「門を読む」・夏目漱石「草枕」を読む／かまくら女性史 朗読のつどい／歴史講座「最新の鎌倉研究から」「鎌倉の歴史よもや話」	延べ 654 [771]
	健康づくり講座 (4 講座)	右脳いきいき臨床美術／健康講座「リンパエクササイズ」／楽しくやろう太極拳／すこやか健康体操	
	生活講座 (2 講座)	生活講座「介護・相続の備え」／防犯講座「安全・安心のために」	
	地域福祉推進事業 (3 講座)	うたごえ喫茶／子ども囲碁教室／字幕付きビデオ鑑賞会	

5 車椅子の貸出

施設名	貸出件数
名越やすらぎセンター	0 [0]
教 養 セ ン タ ー	0 [0]
今泉さわやかセンター	0 [2]
玉縄すこやかセンター	8 [2]

6 福祉・介護専門相談

施設名	相談件数
名越やすらぎセンター	45 [36]
教 養 セ ン タ ー	27 [31]
今泉さわやかセンター	6 [6]
玉縄すこやかセンター	2 [3]

7 福祉法律相談の実施・・・年1回 弁護士が対応

施設名	開催日
教養センター	令和2年2月27日
今泉さわやかセンター	令和2年3月2日
玉縄すこやかセンター	令和2年3月4日

(※) 新型コロナウイルス感染予防のため中止

8 世代間交流の推進

施設名	開催日	内容
名越やすらぎセンター	令和元年7月26日 ～27日	夏休み体験教室（第一小学校と利用者との交流）
	令和元年8月5日	シコトレ（地域の子どもと利用者との交流）
	令和元年7月10日、 17日	スポーツチャンバラ（地域の子どもと利用者との交流）
	平成31年4月24日	字幕付き邦画鑑賞会
	令和元年8月24日	サマーコンサート2019
教養センター	令和元年10月21日	ちぎり絵体験（地域の子どもとサークル会員との交流）
	令和元年10月20日	おもちゃ病院
	令和元年10月20日 ～21日	こどもあそび（地域の子どもとサークル会員との交流）
	令和元年10月20日 ～21日	親子陶芸体験（地域の子どもとサークル会員との交流）
	令和元年10月21日	囲碁交流（地域の子どもとサークル会員との交流）
	令和元年10月20日 ～21日	お茶席体験（地域の子どもとサークル会員との交流）
今泉さわやかセンター	平成31年4月13日 ～令和2年1月22日	初心者囲碁教室（地域の子どもとサークル会員との交流）
	令和元年7月20日	さわやかコンサート（地域の子どもとサークル会員との交流）
	令和元年11月2日	子どもフェスティバル（今泉小にて開催）
	令和元年11月2日	昔あそび（今泉小にて開催）
	令和元年12月26日	ウインターコンサート（地域の子どもとサークル会員との交流）
	令和2年1月18日	新春のつどい（地域の子どもとサークル会員との交流）
玉縄すこやかセンター	平成31年4月13日 ～令和2年2月22日	子ども囲碁教室（地域の子どもとサークル会員との交流）
計 18回		